

# 第1学年1組 学級活動(1) 学習指導案

中学校・特別活動

実施期間 令和〇年〇月～〇月

指導者 〇〇 〇〇

## 1 題材の構想

「集団宿泊教室の成功に向けて今できることを考えよう」

(ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

子ども終了後の姿	集団宿泊教室を通して自分たちの目指す学級とするために、学級の課題とその解決への手立てを考え、一人一人が学年・学級の形成者であるという自覚を持ち、自らの向上と集団の発展を目指している。 多様な意見を基に、多面的・多角的に考えることで合意形成を図る。また、協力・協働しよりよい集団を目指す活動を通して、学年や学級への所属感が高まり、自治的能力を高めている。		
	<b>知識及び技能</b>	<b>思考力、判断力、表現力等</b>	<b>学びに向かう力、人間性等</b>
題材の目標	①よりよい集団の意義や他者と協力・協働することの大切さを理解し、合意形成の方法を身に付けることができる。	①学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、その解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができる。	①学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。
目標に向かうための手立て	○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」 <b>【めあて】</b> 集団宿泊教室の意義や目的、学年テーマと関連付けさせて、集団宿泊教室を通して学級が成長するために、今何が必要かを考える学級会であることを明確にし、課題を他人事ではなく自分事として意識できるようにする。 <b>【振り返り】</b> これまでの話し合い活動や実践の過程を振り返り、集団宿泊教室を成功させるために、学級や自己の経験を活かせるようにする。 <b>【対話】</b> 集団宿泊教室の成功の姿を全員で共有し、さらなる向上に向けた学級の課題を出し合い、課題解決のための行動目標を考える。話し合いの視点に沿って、個人・小集団・学級集団で意見を出し合い、他者の意見や考えを受け止めることで自分の考えを修正したり、課題解決に向けた方法に折り合いをつけたりして話し合い、合意形成を図ることができるようにする。		
子どもの実態30人	①ほとんどの生徒がよりよい集団をつくることの意義や他者と協力・協働することの大切さを理解しているが、集団の形成者として、個でどのような行動をとればよいか迷う生徒が3割程いる。	①課題の解決に向け、自分の考えを出すことは多くの生徒ができるが、合意形成を図る際に、大多数の意見に流されてしまう生徒が2割程いる。	①話し合いで決まったことを他者と協働して取り組むことができる生徒が多い。一方で、何事にも無関心で人任せになってしまう生徒が2割程いる。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①よりよい集団の意義や他者と協力・協働することの大切さを理解し、合意形成の方法を身に付けている。	①自分たちの目指す学級とするために求められることを話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	①集団宿泊教室当日までの過程の中で、話し合いで決まったことを他者と協働して取り組み、自らの向上と集団の発展を図ろうとしている。

指導と評価の計画（3時間取り扱い ●本時2/3）

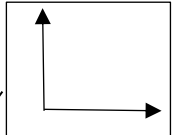
課題等	活動段階	期日・時間	主たる学習活動	評価する内容と方法等
私たちが目指す学級にするために、今できる取り組みを考えよう。	準備	○月○日 帰りの会	○集団宿泊教室の学年テーマ 決めを行う。	【主】①観察
		○月○日 学級活動	○学級の目指す集団宿泊教室 を考え、行動目標を立てる。	【知】①観察 【思】①「キャリア・パスポート」
	計画	○月○日 学級活動	●集団宿泊教室までの行動目 標を決定する。	【知】①観察・ワークシート 【思】①発表・ワークシート
	実践 振り返り	集団宿泊 当日まで	○決まったことを実践する。	【主】①観察
		○月○日 学級活動	○振り返りを行う。	【思】①「キャリア・パスポート」 【主】①観察

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

充実した集団宿泊教室にするために、学級の課題とその解決への手立てを考え、意見を共有する活動を通して合意形成を図り、集団宿泊教室までの学級の取組(行動目標)を決めることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT 機器等
導入	5	1 合唱コンクールの振り返り をし、集団宿泊教室の目的と 学級テーマの確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">議題：集団宿泊教室までの私たちの行動目標を決めよう</div>	○合唱コンクールを通して成長 点と課題点は何だろう。	○合唱コンクールへ向けた取組 を振り返り動機づけを図る。	・タブレット ・スクリーン ・ワークシート
	5	2・議題、提案理由の説明。 ・事前の授業を振り返る。 ・話合いの柱の確認。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">私たちが目指す集団宿泊教室にするために、どんなことができるだろうか</div>	○どのような集団宿泊教室に したいですか。 ・みんなが楽しいと思える集 団宿泊教室にしたい。		
展開	5	3 行動目標に対する質疑応答。 (柱1)	柱1で予想される質疑 ・時間的に、実現可能か。 ・学級の課題を踏まえて考 えるべき、等。	○行動目標の内容を明確にする。	・タブレット ・ワークシート 
	25	4 行動目標について話し合 う。(柱2) (1) 個人で考える。 (2) 個人の考えを理由も添 えて班で出し合う。 (3) 全体で意見を出し合い議 論する。 (4) 合意形成シートをもと に再度考え、個人の考えを 班で出し合い、班ごとに 意見をまとめる。 (5) 全体で意見を出し合 い、まとめ、学級の行動目 標を決定する。	柱2で予想される発言 ・5分前行動を徹底したほう がいい。 ・困っている人にもっと声 をかけるようにしたい。 ・2つの視点(合意形成シ ート)をもとに考えたい。 ・優先する軸を決める。 ・みんなで実行できるもの がいい。 ・意見を組み合わせるとみ んなが納得できるのではない か。	○話合いの視点を提 示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">合意形成シート</div> 柱1、柱2を通して ◎【知】①合意形成 に向かうための話 合いの目的を理解 している。 ◎【思】①自分の意 見に固執せず、多 様な意見を大切に して考えを変える などして折り合 いをつけている。	
終末	10	5 決まったことを確認す る。 6 振り返りを行う。 (1) 先生の話 (2) 振り返りシートの記入	○振り返りを生かしながら自 分たちの行動をもっと高め ていきましょう。	○集団で取り組む意 義や大切さ、集 団の形成者としての 自覚や責任感を 価値づける。	